

【用語説明】▷**未処分利益剰余金**＝経営活動により生じた利益で、特定の使途(使い道)が定まっていないもの。▷**減債積立金**＝企業債(借り入れ)の償還の財源に充てるための積立金。▷**建設改良積立金**＝建設または改良工事などを行うための財源に充てるための積立金。

事業の概況

水道の未給水地域における

令和元年度
水道事業会計決算

▽問い合わせ先Ⅱ水道事業所庶務係(☎内線202)

9月に開催された市議会第3回定例会において、令和元年度の水道事業会計決算が認定されました。

経営収支の状況は、人口減少などにより給水収入が減少し、経費全般の節減に努めたものの、当年度の純利益は前年度を7,307万円下回る3,669万円となりました。

さらに、今後は減価償却費や借入金利息の増加などにより、経営は厳しさを増すものと見込まれます。

当年度未処分利益剰余金は1億7,536万円となり、このうち、減債積立金と建設改良積立金にそれぞれ5,000万円を積み立て、残りの7,536万円は令和2年度へ繰り越しました。

収益的収支

水道事業を運営するための収益と費用

水道料金収入や水道の新たな設置に伴う工事検査手数料は減少しましたが、浄水場の改修に伴う繰延収益が増加したことなどから、総収益は前年度より1,507万円増加し、7億238万円となりました。

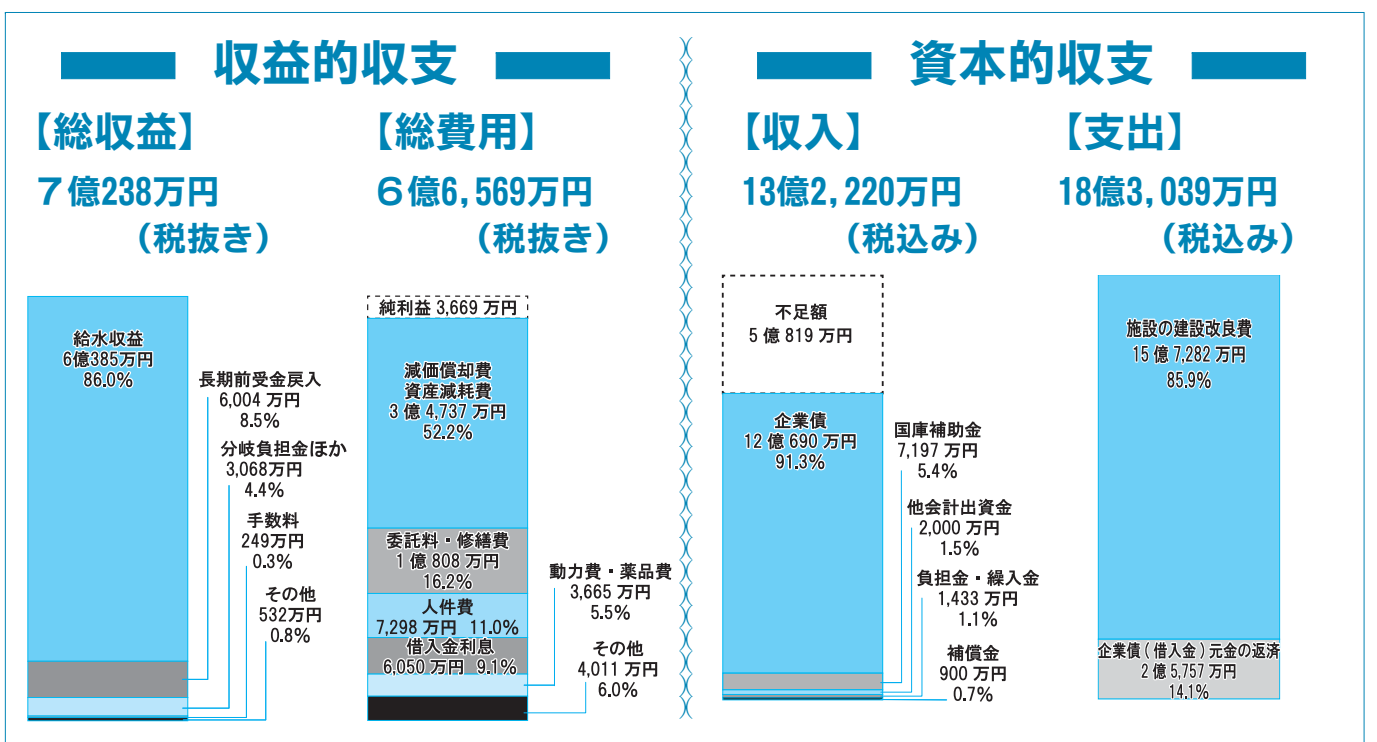
資本的収支

水道施設を整備するための財源と費用

収入は、水道施設整備事業や配水管の布設替えなどの改良更新事業に充てる企業債(借入金)のほか、災害復旧事業に対する国庫補助金などで、前年度より3億3,897万円多い13億2,220万円となりました。

支出は、水道施設の新規整備事業や既存施設の改良更新事業、および東日本大震災関連の災害復旧事業に伴う費用のほか、企業債元金の返済などで、前年度より2億248万円多い18億3,039万円となりました。

収入の不足分5億819万円は、留保資金や減債積立金で補てんしました。



特集 令和元年度大船渡市の決算状況

令和元年度の決算額でみる

合併建設計画の実施状況

(単位:千円)

大綱区分	決算額
豊かさが実感できる都市環境づくり	3,911,843
魅力と活力あふれる地域産業づくり	189,662
文化の香り高い生涯学習のまちづくり	128,112
合計	4,229,617

本計画は、平成13年度の大船渡市と三陸町の合併に際し、住民福祉の一層の向上を図るとともに、三陸沿岸地域の拠点都市としての機能強化を図ることを目的として策定されたものです。

計画期間は、平成14年度から令和3年度までです。

計画に登載された事業は、国から有利な財源支援が受けられ、令和元年度までに166事業に着手しています。

■魅力と活力あふれる地域産業づくり■

(単位:千円)

区分	事業名	決算額
漁業生産基盤整備	県営漁港整備事業(漁港整備事業費負担金)	27,030
	大船渡湾干潟造成事業	122,324
	アワビ増殖事業	2,037
	水産物供給基盤整備事業	876
	漁場環境保全総合美化推進事業	549
漁業集落環境整備	漁業集落環境整備事業【三陸町綾里】	4,730
林業生産基盤整備	流域森林総合整備事業	19,625
	豊かな海を育む大きな森づくり事業	1,000
地場産業振興	産学官連携交流促進支援事業	6,643
就労環境整備	就職促進奨励支援事業	4,848

■文化の香り高い生涯学習のまちづくり■

(単位:千円)

区分	事業名	決算額
学校施設整備	義務教育施設整備事業(コンピュータ)小学校/中学校	101,524
	義務教育施設整備事業(大規模改修)	23,852
	社会教育施設整備	2,736

▷問い合わせ先＝企画調整課企画係(☎内線229)